

報道関係各位

2024年11月13日
第一園芸株式会社

**未来と歴史が融合する汐留シオサイト1区B街区のウィンターイルミネーションを施工
日本の鉄道発祥の地を10色の光のうつろいが優しく包み込む
2024年11月16日（土）～2025年1月20日（月）**

花と緑に関する事業を展開する第一園芸株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：山村勝治、三井不動産グループ）は、汐留シオサイト（東京都港区1丁目）の1区B街区エリアで2024年11月16日（土）から2025年1月20日（月）の期間限定で展開するウィンターイルミネーションの施工を担当しました。



■テーマは「SHIODOME Bright Time～汐留の輝く時を感じる～」毎日をもっと楽しく、冬ならではの季節感を楽しむ

日本を代表する企業が多く、日本の鉄道開業時の駅舎外観を復元した旧新橋停車場も備わった未来と歴史が融合する緑豊かなビジネス街「汐留シオサイト」。その1区B街区エリアを時間とともにゆるやかに10色の光の演出が変化するイルミネーションで、毎日をもっと楽しく、そして冬ならではの季節感を盛り立てます。ワーカーの日常に寄り添いながらも特別感を感じるイルミネーションは、週末にはさらに違った圧倒的な光の演出で訪れるみなさまをお出迎えします。



【南側エントランス入り口】

■Swing Field（スイングフィールド）

南側エントランスの入り口には、見ごたえある高木にホワイトカラーとアクアカラーのイルミネーションで水のきらめきを演出します。低植栽にはゆらゆらと揺れるイルミネーションを設置することで風の動きを表現しています。

【高層棟北側広場植栽エリア】

■Twinkling of light (トィンクリングオブライト)

緑豊かな北側広場には、シャンパンゴールドとホワイトカラーで森の中に上品に輝く星空の瞬きを表現しています。最新のピクセルマッピングで実現するフルカラー演出が時間とともに変化し、幻想的な光の空間が広がります。時間が経つごとにゆるやかに光の演出が変化し、訪れるみなさまを楽しませます。



16:00～18:00 の演出

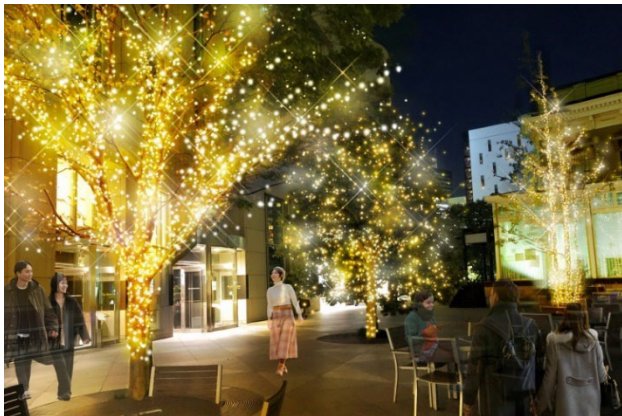


20:00～23:00 の演出

【旧新橋停車場エリア】

■きらめきテラス

新橋停車場周辺の樹木があるエリアは、光のきらめきを表現した演出となっています。汐留シティーセンターエントランス側の高木には多彩なフルカラーイルミネーションを施し、その他の樹木にはシャンパンゴールドにさらにホワイトカラーを合わせたイルミネーションでよりきらめき感をアップさせます。



16:00～18:00 の演出



18:00～20:00 の演出



【旧新橋停車場】

■光彩のプラットフォーム

プラットフォームをカラーライティングし敷地全体との一体感を生み出し、この冬にしか見られない旧新橋停車場の特別な景色を演出しています。

日本の鉄道発祥の地としての華やかにライトアップいたします。

【昭和通り側】

昭和通りに面する樹木は、ブルーのライトアップで染め上げることで、緩やかな動きで水の流れを表現しています。シンボルツリーは、最新のピクセルマッピングを活用したフルカラー演出で点灯させます。通常のイルミ球より大きめのビンテージ球は通りからも目立つので、行き交う人々の目を楽しませます。



水の流れを表現したライトアップ



大きめのビンテージ球で華やかに

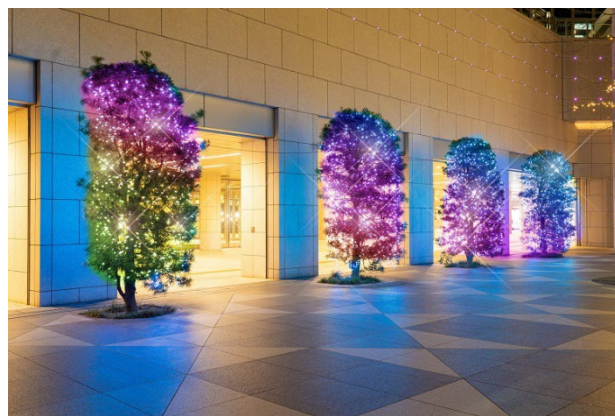
【サンクン広場】

■きらめきテラス

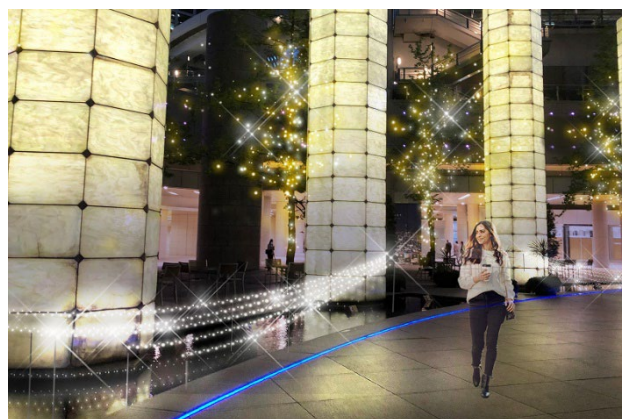
サンクン広場の高木には、シャンパンゴールドとホワイトカラーのイルミネーションを合わせゴージャス感ある灯りを演出、中木にはカラーチェンジ可能なイルミネーションを施し、時間とともに変化させることで飽きさせない特別感ある空間にしました。さらに金曜日から日曜日は特別演出として、中木のイルミネーションがよりカラフルに点灯します。



光りのコントラストが美しいサンクン広場



金曜日から日曜日はさらにカラフルな特別演出



【サンクン広場水辺】

■Twinkling of Water (トゥインクリングオブウォーター)

流れるようなイルミネーションを点滅させることで、水面に映った光がキラキラと反射し美しい水景を演出します。

■汐留シオサイト 1区B街区のウィンターイルミネーション詳細

【期間】2024年11月16日（土）～2025年1月20日（月）

【場所】汐留シオサイト 1区B街区エリア（東京都港区1丁目）

【ライトアップ時間】16:00～23:00

【主催】汐留シティセンター・パナソニック東京汐留ビル管理組合

【公式ホームページ】<https://www.sio-site.or.jp/index.html>

■第一園芸株式会社 概要

第一園芸は、花と緑のプロフェッショナルとして創業127年を迎える、三井不動産グループの企業です。店舗やオンラインショップでの個人/法人向け商品の販売、婚礼装花、オフィスビルや商業施設などの都市緑化や公園・庭園などの造園・管理を手がける緑化事業、季節の空間装飾事業など、幅広い事業を展開しています。今後も第一園芸は花と緑に囲まれ豊かで潤いのある、そして持続可能な社会の実現を目指して挑戦しつづけます。

所在地：東京都品川区勝島1丁目5番21号 三井物産グローバルロジスティクス勝島20号館

代表者：代表取締役社長 山村勝治

創業：1898年（設立1951年）

資本金：4億8千万円

株主：三井不動産株式会社（100%）

URL: <https://www.daiichi-engei.jp/>

第一園芸公式 Facebook : <https://www.facebook.com/daiichiengei/>

■「OASEEDS（オアシーズ）」概要

第一園芸株式会社の環境緑化・空間装飾ブランド。商業施設やオフィスビルの屋内外の環境緑化、空間に応じたコンセプトの企画とデザイン、植栽や装飾の施工までをワンストップで提供しています。

ブランドサイト : <https://www.daiichi-engei.jp/oaseeds/index.php>

■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

また、2024年4月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取り組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】・「グループ長期経営方針策定」

<https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>

・「グループマテリアリティ」

https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/

《本件に関する報道関係からのお問い合わせ》第一園芸株式会社 ブランド推進部 岡本

Tel : 03-6404-1501 / Mail : info_pr@daiichi-engei.co.jp